



NSENGI

ニュースリリース

## 新開発工法「NSビルプラス®G」の初採用 ～ 鋼製パネルダンパーによる低コストの耐震補強工法 ～

新日鉄住金エンジニアリング株式会社（代表取締役社長：藤原 真一、本社：東京都品川区、以下「当社」）が開発・商品化した、鋼製パネルダンパーを用いた耐震補強工法「NSビルプラス®G」（※以下「本工法」）について、このたび、北九州市市営住宅（「勝山北団地6号棟」「馬寄団地12号棟」）に初採用されました。

※NSビルプラス®G：名称の「G」は補強部材をグリッド状に配置していることを示しています。

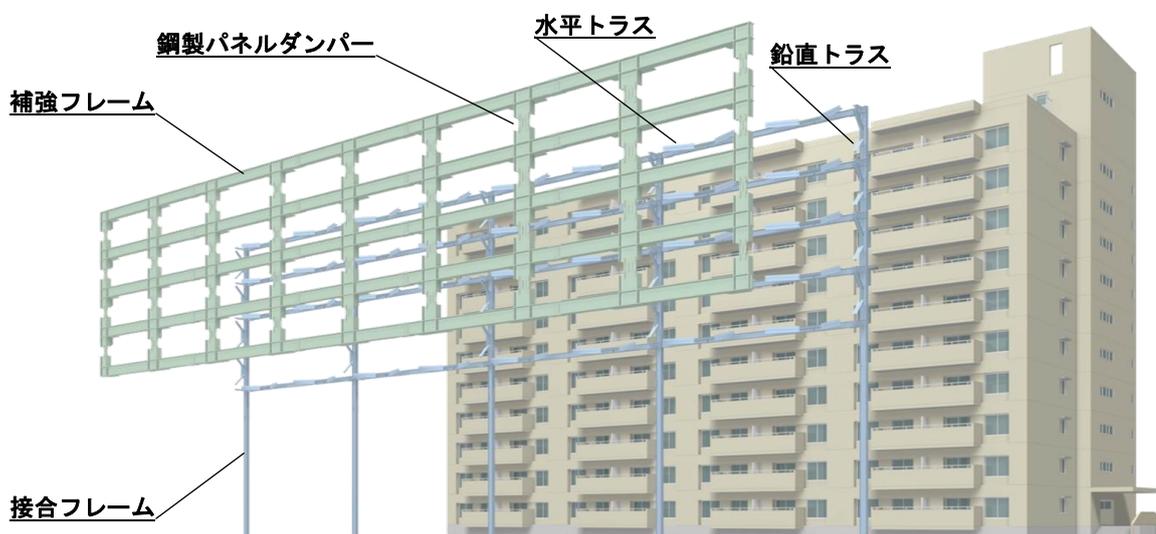
本工法は、2011年度に一般財団法人日本建築センターで技術評定を取得した当社製鋼製パネルダンパーを用いており、座屈補剛材を取り付けた低降伏点鋼板がせん断変形する事で地震エネルギーを吸収する構造となっています。

本工法は、マンション等のバルコニーがある建物に対して考案された耐震補強工法であり、その特長として、下記4項目が挙げられます。

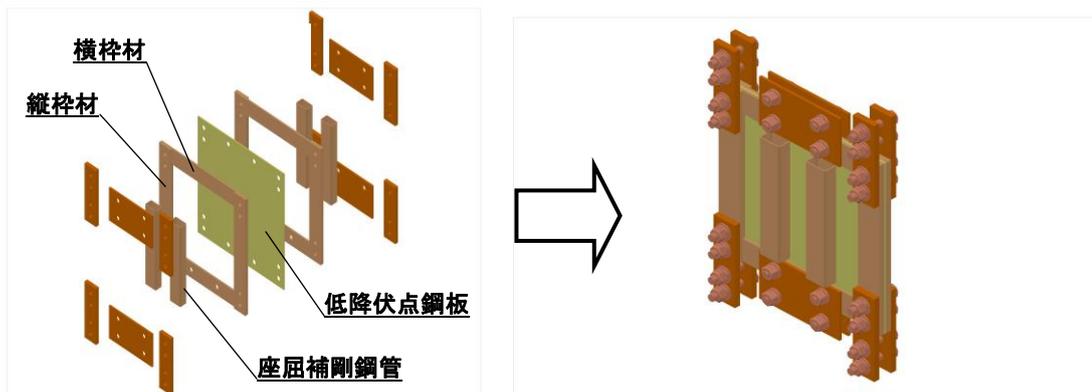
- ① 外付工法の為、建物の内部工事が不要であり「居ながら・住みながら」補強工事を行う事が可能。
- ② 窓やバルコニーを遮らない「間柱型」構造を採用し、補強工事後も工事前と同様の採光・眺望が可能。
- ③ 鉄骨部材のみによる補強フレーム、接合フレーム、水平・鉛直トラスの3層で構成され、新たに基礎杭を増設する必要がない為、簡易・短工期で低コストな工法。
- ④ 鋼製パネルダンパーは優れたエネルギー吸収性能と変形性能を有する為、従来の「強度靱性型の補強設計」に加え、応答解析により検証した「制振型の補強設計」が可能。また、疲労性能はレベル2地震の数回分以上を保有している為、取り換え等のメンテナンスが不要。

当社は、マンションおよび病院・公共施設などの所有者や設計者に対し、建物の健全性と居住性が強く求められている昨今のニーズに合致した本工法を提案する事により、今後とも安心・安全そして快適な社会の実現に貢献し続けてまいります。

### 【「NSビルプラス®G」の基本構造】



## 【鋼製パネルダンパーの基本構成】



## 【「NSビルプラス®G」施工後の外観（勝山北団地6号棟）】（設計：大建設計九州事務所）



※NSビルプラス®：新日鉄住金エンジニアリング㈱の登録商標です。（登録番号：5833437）

### 【リリースに関するお問い合わせ先】

CSR・広報部 広報室 03-6665-2366

URL <http://www.nsec-steelstructures.jp/>

### 【商品に関するお問い合わせ先】

URL <http://www.nsec-steelstructures.jp/>